

---

---

# DeFiの予想

やさしくないDeFi#5

うどん

---

# 自己紹介

うどん

- リサーチャー
- 大学一年生
- ex-DMM, Stirで現在ニート
- Turingumで Advisor





1. DeFiとCeFi (Fi) の比較による予想
2. (おまけ) Interoperableな世界での  
EthereumのDeFi

---

まずはDeFiとCeFiについて  
整理する

# DeFi

- No KYC/AML,  
No Credit Risk
- 自動執行による解決
- Over-Collateral
- Fully Verifiable
- High Composability

# CeFi

- KYC/AML,  
Credit Risk
- 暴力による解決
- Credit as a Collateral
- Not Fully Verifiable
- Lower Composability

DeFi ≡ レゴブロックな無  
政府金融

# CeFiにある基本的な金融商品

- 株、債券等の現物（普通や信用取引）
- デリバティブ
  - 先物、為替予約
  - オプション（Put, Call, CDSなどの保険）
  - 金利, 通貨スワップ

あとはこれらを合成したりラッピングして証券化を行なったり

# DeFiに今のところないもの

- デリバティブ
  - 先物、為替予約
    - 特に為替予約
  - オプション(Put, Call, CDS )
    - PutはConceptであるがCallやCDSはない
  - 金利, 通貨スワップ
    - CompoundやステーキングのInterest?

あとどんな商品がありましたっけ



# Privacy Tech

- ないことによる問題
  - UniswapとかDexのフロントランニング
  - TokenSetsのファンドとかも、手数料とっているけど実際どれだけファンドにあるのかトレースできてしまう

# — 今後のDeFiの広げ方

- New Techによる拡張
  - ZKRU/ORUとかPrivacy Techとか
- DeFiの金融商品拡充
  - どのように整合性を担保しつつ、効率よく商品を生  
成できるか
- (DeFiを使った、組み合わせた製品)
  - FlashLoanとか他にも使い道があるはず

# (おまけ) Interoperableな世界でのEthereumのDeFi

# ここでのInteroperability

## Swap Type

- Aブロックチェーン上のAトークンとBブロックチェーン上のBを交換する

## Peg Token Type

- Aブロックチェーン上のAトークンをBブロックチェーン上に持って来る

# Interoperableになることでできる金融商品

できること: bitcoinや他のクリプトを持ってきて既存のDeFiに組み込む

- RENとかWBTC, tBTC, pBTCあたり
- セキュリティーはペグトークン作成プロトコルに依存？

# Interoperableになることでできる金融商品

- ステーキング/レンディングのポジション/Interestの取引
  - Everret, Vestとか（クリプトで発生する金利のトレード？）

# Ethereum DeFiへの影響

仮説「IBCなどによりEthereum以外からもEthereumのDeFiを利用できるときに、Ethereum上にアセットをおく/アプリケーションを置く意味はあるのか？」

結論「ある。」

# メリットとか

- 当たり前だが、Ethereumのセキュリティーをそのまま享受できる
- 移動には、時間がかかる。費用もかかる  
(Confirmationおよびそれなりの手数料が必要)
- Ethereum上のDeFiのComposabilityを享受できないものもある。(FlashLoanなど)





Ethereumのセキュリティ、時間や手数料、機能の一部制限

VS

Ethereumに巻き込まれないで独自にやっていきたい